



看護部長便り ~A letter from Ozawatti~



介護医療院に泳いでいた鯉のぼり。鯉のぼりは、人生という流れの中で遭遇する難関を鯉のように突破して立身出世して欲しいという願いが込められているそうです。

コロナの規制が緩和され、行動制限のない時間がやってきました。それに先立ち、今年度の入職式は3年ぶりにセコム提携病院神奈川ブロック3病院（当院、横浜新緑総合病院、西横浜国際総合病院）の合同入職式を開催することができました。皆さんの毎日はどのように変化しましたか？

さて、コロナ禍の3年間を振り返り、私なりの学びを少し書いてみます。自身が感染管理認定看護師で、「感染から患者・入所者を護る、職員を護る、費用対効果の高い方法で行う」というゴールはいつでもぶれることはありません。ただ、コロナは未知であったことや変化が激しいことから、さまざまな課題を突き付けられました。そんな状況で、「慌てない。その時のできる限りでタイムリーに正しく情報を伝えていく。変化に合わせた柔軟な思考。現場ができるかどうか。不安を聞く。仲間を信じる。」等々・・・、多くのことを考えました。皆さんがどんな思いでコロナに向き合い、乗り切ってきたか、研究できたらいいな（！？）とも思っています。

では、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

看護部長 小澤



以下の写真は撮影時のみマスクを外しています



～新人研修紹介～ 今年度も新しい仲間が加わりました

今年度、看護部では看護師12名、介護福祉士8名の新入職員を迎えることができました。

4月の研修では社会人マナーや感染、守秘義務などこれから病棟で働くための知識や技術を学びました。緊張しながらもお互い協力して研修を実施することができました。その他にもチームワーク力を学ぶため、秦野市の大根公園で研修を行いました。公園内にあるグラウンドを使用し様々なゲームに挑戦しました。チームが勝利できるように仲間同士で積極的にコミュニケーションをとり、作戦を立てる姿など、楽しんで研修に参加している姿が見られました。

4月後半からは看護技術演習が始まっています。第1回目は「吸引/酸素」を行いました。

わからないことはすぐに質問する姿や「もう一度やりたい！」といった自発的な声が聞かれ、新人さんの学びたい意欲がよく伝わりました。これからの成長が非常に楽しみです。研修での学びを病棟で活かしていけるよう、病棟でのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



実地指導者として初めての新人指導

今年度初めて実地指導者となった介護医療院のアマンテ ジャン クリスさん、森田 志穂さんに意気込みをお聞きました。

★アマンテ ジャン クリスさん（写真右）

新人さんに愛情をたっぷり注いで一緒に学んでいきたいと思っています！新人さんのできることが少しずつ増えて成長している姿を見ているとなんだか親になった気分になります！（笑）教えることはあまり得意ではありませんが、伝えるべきことは伝えて、新人さんが一人前の介護福祉士になれるよう、全力でサポートしていきます！



★森田 志穂さん（写真左）

今年度、実地指導者として新人さんのサポートをしていきます。初めての事で緊張と不安でいっぱいだと思いますが、新人さんが不安にならず、自信と楽しさを持って働けるように1年間頑張っていきます。



新たにインドから2名の特定技能実習生が入職しました

昨年の3名に続き、インドから特定技能実習生が2名入職しました。これで当院に5名の特定技能実習生を迎えることができました。（写真左：小澤看護部長、写真中央：チャンドルさん、写真右：ヨガラクシュミさん）特定技能実習生は5年間の間に日本で介護福祉士の資格取得を目指すことを目標としています。お二人からは日本で勉強をし、資格取得に向けて一生懸命頑張っていきたいとコメントをもらいました。来日してまだ日は浅いですが、日本に慣れてきた頃には広島・長崎やディズニーランドに行きたいとのことでした。これから5人の目標が達成できるよう支援していきたいと思っております。



セコム医療・介護グループ 関東地区 合同研究発表会

今年で第17回目の開催となったセコム医療・介護グループの合同研究発表会が3年ぶりに現地で開催されます。“変わらない”ために“変わり続ける”～真のバリアフリーを目指して～と題し様々な病院や企業から研究発表が行われます。当院からの登録演題もあるので興味がある方はぜひご参加ください。

日時：6月17日(土)13時～
場所：新宿NSビル



皆様をサポートいたします



2023度も教育専従は加藤久美子、栗田智美、足立原崇が担当します。今年度は、実践能力向上に重点を置いた研修が多く企画され、トータルでの研修数は昨年より増えています。研修に参加された際には、ぜひ、臨床現場で活用できるものを持ち帰ってくださると嬉しいです。

すっかり眼鏡が手放せなくなった今日この頃ですが、少しでもより質の高い研修を実施できるように、目を見開いて👁👁がんばります。

